

## かわさき区の宝物シート

宝物No.	すいじんしゃ
14-2	<b>水神社</b>



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

エリア	大師地区	シーズン	通年
	殿町	日時	

目的	<input checked="" type="checkbox"/> 観る	<input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する
	<input type="checkbox"/> 食べる	<input type="checkbox"/> その他

宝物定義	<input type="checkbox"/> ものづくり	<input type="checkbox"/> イベント・祭り
	<input type="checkbox"/> 味づくり	<input type="checkbox"/> にぎわい
	<input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの	<input type="checkbox"/> 港めぐり
	<input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの	<input type="checkbox"/> 人物

所在地	川崎区殿町2-1-20
問い合わせ	若宮八幡宮
TEL	044-222-3206
FAX	044-233-3060
E-mail	
URL	
交通	JR川崎駅よりバス「殿町二丁目」下車徒歩4分



### 基礎情報

- 創建は江戸時代で、新田開発が行われた大師河原・旧稻荷新田の村社として建立された。
- 御神体は灌漑用水の神「天津罔象女神(あまつみずはのめのかみ)」。境内右奥の道祖神「乳出地蔵尊」は子育ての神として地元の人々から篤い信仰を集めている。また、慶安元年(1648)に社領3石が与えられた徳川家光からの朱印状も残されている。

### 由来・エピソード

- 右手に花を持ち、左手に乳呑児を抱えている「乳出地蔵尊」は、頭にベールをかぶりマリア像にも似た異国の雰囲気漂わせている。石造りの神像彫刻としては非凡な作であり、川中島神明神社の赤子を抱く咳の神様「歳之神」の原型ともなった。
- かつては隣の法榮寺の境内に拝殿をつくり、農作物や海苔の豊作、豊漁が祈願された。また昭和のはじめ頃まではお日待の行事が10月5日に行われ、18歳以上の若衆頭の集まりが三日三晩続けられたという。

### 補足・その他

--

### 関連シート

- (10-3) 若宮八幡宮・若宮郷土資料室
- (10-22) 川中島神明神社
- (14-3) 法榮寺